



★子供の「能力」と「努力」どちらをほめる？

- ①ニューヨークの小学5年生500人に簡単なパズルをしてもらいました。半分の子供たちには「君は賢いに違いない」と能力をほめ、残り半分の子供たちには「君は一生懸命やったに違いない」と努力をほめたのです。
- ②その後、パズルを選んでもらうと、能力をほめられたグループは半分以上が簡単なパズルを選び、努力を認められたグループは9割が難しいパズルを選びました。
- ③次に7年生用のIQテストのパズルをしてもらいました。先ほど能力をほめられたグループは「自分は能力がないせいで」と失敗の原因を自分の能力不足ととらえ、失敗を恐れ不安になりましたが、努力を認められたグループは「十分に集中できなかったからかもしれない」と失敗の原因をプロセスの問題ととらえ、最後まで熱心に取り組みました。
- ④そして、再び最初の簡単なパズルをもらうと、能力をほめられたグループは、生産性が20%落ち、努力を認められたグループは30%高まったのです。



順番	内容	能力をほめられたグループ	努力をほめられたグループ
①	簡単なパズルの後にかけられた言葉	「君は賢い！」	「君は努力した！」
②	次に挑戦するパズルのレベル（挑戦するか）	半数以上が簡単なパズルを選ぶ	9割が難しいパズルを選ぶ
③	難しいパズルが解けなかった時の思い（落ち込まないか）	「能力がないせいで」 失敗を恐れて不安になった	「集中できなかったからだ」 最後まで熱心に取り組んだ
④	再び行った簡単なパズルの成績（回復するか）	20%ダウン ↓↓	30%アップ ↑↑↑

引用 WAVE 出版（2019）：世界に通用する子どもの育て方、p,142

【風をよむ】 この本との出会いは突然で、何か運命的なものを感じました。松村先生が福岡にいらっしやると聞き、講演も聞きに行きました。私が一番興味をもったのは、「第6章の主体的に動く子どもに育てる」。ぜひ手に取って見てほしいです。私自身、子供が生きる力を育むことを目的に、自然体験活動を提供しています。エッセンスとしてこの本を今後も活用したいと考えています。

（太陽の力 代表 米田昌生）

☆直接メール配信も行っていますので、必要な方は下記アドレスへ連絡ください。
 ☆学校の先生方へ：可能であれば、本用紙を印刷し子供たちへ配布していただければと思います。

